

第5学年2組 道徳学習指導案

ちがいを豊かさに

「大切なもののちがい」2 - (4) 寛容 (出典: ちがいを豊かさに 大月書店)

指導者 東広島市立三ツ城小学校 榎並 愛子

1 道徳の時間の展開にあたって

— 本時のねらい —

自分のものの見方や考え方を豊かにしたり関わりを広げたりするために、「ちがい」を認め、理解しようとする心情を育てる。
異なった意見や立場に対して、なぜそのような意見や立場をとるのかを相手の立場に立って考え、理解しようとする態度を育てる。

主題設定の理由

私たちの間には、様々な「ちがい(差異)」がある。「ちがい」そのものにはいいも悪いもないが、人間の考え方や態度によっては偏見や差別を生んでしまう。多くの人々とよりよく生きていくためには、お互いの「ちがい」を認め合い、理解し合おうと対話を深めることが必要である。そうすることで、一人一人のものの見方や考え方がより豊かになり、「ちがい」を当たり前のこととして受け入れられると考える。私たちのものの見方や考え方次第で、「ちがい」は人間の豊かさにできることをしっかり自覚させ、相手の立場に立って考える態度を育てたいと願い本主題を設定した。

本資料は、「自分にとって大切なもの」「友だちにとって大切なもの」「世界のいろんな子どもたちにとって大切なもの」というように、視野を少しずつ広げていく構成になっている。自分と友だちの大切なものの「ちがい」を理解する過程では、対話の必要性を実感することができる。さらにバングラディッシュの子どもたちの大切なものを考える過程では、相手の立場に立つことの大切さに気づくことができる。本資料に流れている「ちがいを豊かさに」という考え方は、今後、児童の人との関わり方に大きな影響を与えると考える。

本時の道徳の学習をする意義を意識させるために

- ・事前に、心のノートの「よりそうこと、わかり合うことから」を読んでおくよう助言する。

自分と友だちの大切なもののちがいを理解し合うために

- ・大切なものを書いたカードをもとに、理由をしっかりと聞き合いながら意見交流をするように助言する。

バングラディッシュの子どもたちの立場に立って、大切なものは何かを考えられるようにするために

- ・日頃から、新聞やニュースを活用し、世界の子どもたちの生活の様子に関心をもつことができるようにしておく。
- ・バングラディッシュの子どもたちの生活の様子を理解させるために、写真を提示し、説明を加える。

相手の立場に立ち、ちがいを理解しようとする気持ちを高めるために

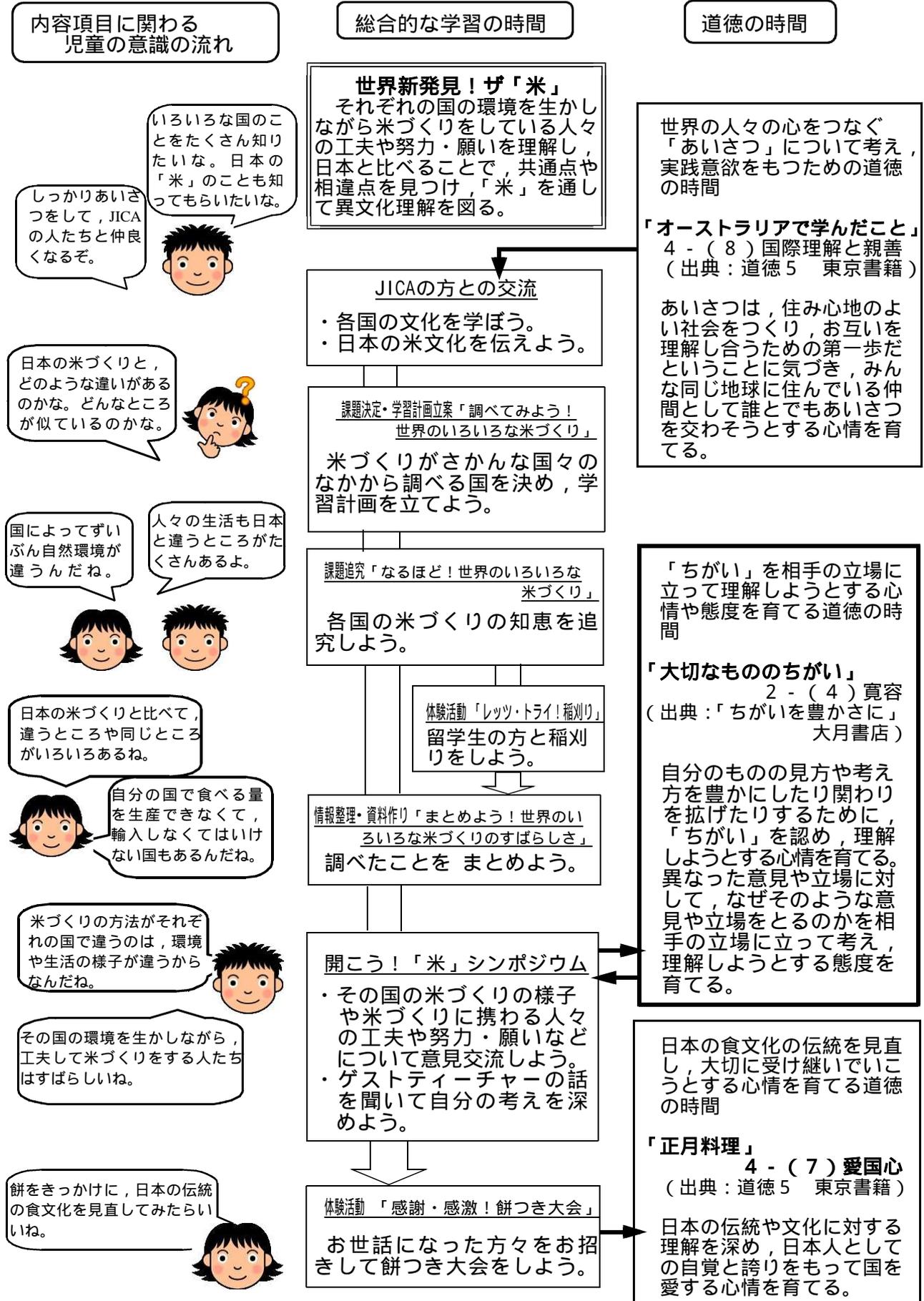
- ・相手の立場に立って考えようとした態度を評価する。

— 本時と総合的な学習の時間とのかわり・子どもの姿 —

児童は、総合的な学習の時間『世界新発見! ザ「米」』において、各国の米づくりの様子や、米づくりをする人々の工夫や努力・願いなどについて調べた。この学習で大切なことは、国によって米づくりの方法は違っても、環境を生かし、工夫・努力を重ねて米づくりをする人々のすばらしさは各国共通であることを理解することである。そのためには、「ちがい」を認め、相手の立場で米づくりや人々の生活を考えようとする心情や態度がどうしても必要である。

本学級では、自分の考えを發表しようとする児童が多い。しかし、友だちの發言を聞いて、なぜそのように考えたのかを問い返すことは少なく、相手の立場を本当に理解しようとする態度はまだ十分に育っていない。また、目標がはっきりしていれば、お互いに協力し合って頑張ろうとするのに、日常生活の中では、「あの子と自分は が違うから」と、「ちがい」があることを知っただけで、そこから先の関わりをもととしない場面に出会うこともあり、その都度どうすることがお互いのためにいいのかを話し合っているのが現状である。

2 関連構想図

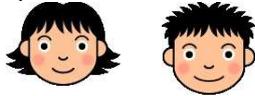


3 授業の視点

少人数で話し合う活動を取り入れたり、資料を有効に活用したりすることで、相手の立場に立って「ちがい」を理解しようとする心情や態度を育てる授業を提案します。

4 学習過程

...評価の視点

	学習の流れ	教師のはたらきかけ
気 づ く	<p>1 自分や友だちが選んだ大切なもの「ちがい」について意見交流をする。</p> <p>グループごとに、一人一人が選んだ大切なものについて、理由をしっかりと聞き合ひましょう。</p> <p>意見交流をしたことで、自分の考えが深まったことを発表し合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切なものが同じでも、選んだ理由は～が違っていたので、～と思いました。 自分とは違うものを選んだ理由を聞いて～と思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 十分に意見交流ができるように3～4人のグループ編成にする。 一人一人に大切なものを書いたカードを持たせることで、活発に意見交流ができるようにする。 大切なものが同じでも、理由が違う場合があるので、理由をしっかりと聞き合うように助言する。
心 を た が や す	<p>2 世界のいろいろな国の子どもたちが選んだ大切なものは何かについて考え、話し合う。</p> <p>世界のいろいろな国の子どもたちが選んだ大切なものは同じでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界には戦争をしている国もあるから～が大切だと思う子どもたちがいると思います。 <p>バングラディッシュの子どもたちが選んだ、3つの大切なものは何かを考えましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>生活のために学校へ行けない子どもたちがたくさんいるんだ。学校に行きたいという願いは強いだろうな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>路上で家族が死んでしまうなんて…。こんな悲しいことをなくすには病院が必要だよ。もっと多くの人を助けることができるよ。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>バングラディッシュの子どもたちが選んだ大切なものを知って、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一生懸命考えたつもりだけど、まだ分かってないことがたくさんあるんだなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室掲示してある、世界のいろいろな子どもたちの生活の様子からも考えてみるように助言する。 どうしてそう考えたのか、理由をよく聞くようにする。 バングラディッシュの子どもたちの生活の様子を理解させるために、写真資料を提示し、説明を加える。 選んだ理由をしっかりと言わせることで、話し合いを深めることができるようにする。 <p>バングラディッシュの子どもたちが選んだ大切なものは何かを、自分なりに真剣に理解しようとしているか。</p> <p style="text-align: right;">【発表・話し合う時の態度】</p>
高 め る	<p>3 「大切なもののちがい」について学習した感想を書く。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返りながら、「ちがうから関係ない」ではなく、「ちがうからこそ理解し合おうとすることが大切」ということに気づくことができるように助言し、本時の感想を書かせる。 <p>相手の立場に立って理解しようとする心情が育ったか。</p> <p style="text-align: right;">【感想】</p>